

東中学校 英語科 3月アンケート結果 考察

1 アンケート結果

- ・1学年では、設問（1）から、7月、2月ともに7割以上の生徒が「英語の授業を楽しみにしている」と回答していた。
- ・2年生では、設問（4）（5）（6）から、9割以上の生徒が、「当てはまる、どちらかと言えば当てはまる」に回答し、7月の結果より割合が高くなった。
- ・3年生では、設問（3）から、「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の回答が、7月の回答より、割合が大幅に高くなった。
- ・どの学年も、設問（4）から、9割以上の生徒が、2月に「当てはまる、どちらかと言えば当てはまる」と回答していた。

2 今年度の成果

- 今年度は、秋にオーストラリアから9人の生徒が来校し、各学年で交流授業を行うことができた。交流授業の準備や活動を充実させることで、多くの生徒が実際に英語を使用する場面をもつことができた。その経験が、英語学習への動機づけにつながった。
- 各学年で重点的に取り組んだ活動（1年生、2年生では「聞くこと」、3年生では「書くこと」）があり、生徒の理解度を上げることができた。

3 今年度の課題

- 1年生では、「話すこと」の理解度が大幅に下がった。中学校に入り、「書くこと、読むこと」の活動が多くなり、小学校で多くやってきた「話す活動」が減ってしまったことも要因であると考えられる。小中の連携の観点からも、話す活動から、読む活動、書く活動へとつなげ、話す活動にも重点を置いて進めていきたい。
- 2年生では、「授業で、進んで英語を話している」と回答した割合は増えているものの、「話す活動」への理解度の割合が減っていた。ただ話す活動をさせるのではなく、きちんと理解をした上で話させるように改善していきたい。
- 3年生では、多くの項目で肯定的回答が増えているものの、全体的に低い傾向があった。教科書内容も難しくなり、英語に苦手意識を持ってしまう生徒も増えることから、基礎基本の復習や、個別指導の充実を考えていきたい。

4 令和6年度の重点事項

- ◎書く力を伸ばすために、家庭学習と授業で「書く活動」の充実を図る。
- ◎各単元で、自分の学習の振り返りを行わせ、学習の自己調整力を高める。
- ◎オーストラリアの生徒との交流会で、より内容ある会話ができるよう準備をしていく。